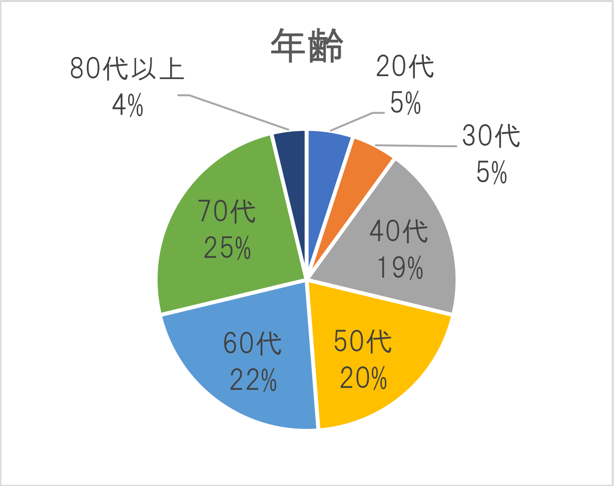
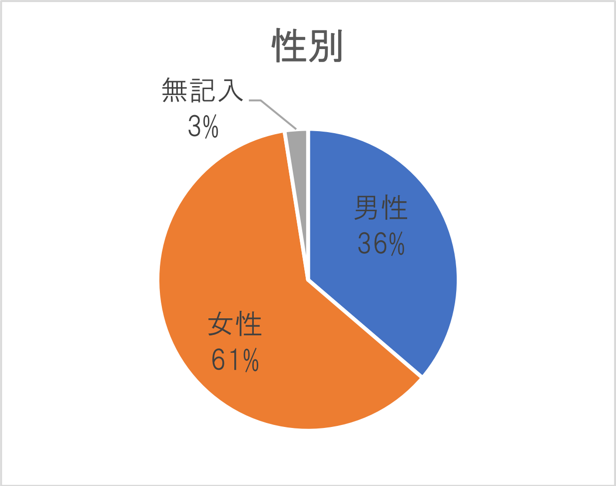
# 令和４年度　認知症講演会　アンケート集計結果

〈　参　加　者　〉 会場:86名　オンライン:20名　計106名
〈アンケート回収〉 会場:71名　オンライン9名　計80名
〈アンケート回収率〉 75. 47%

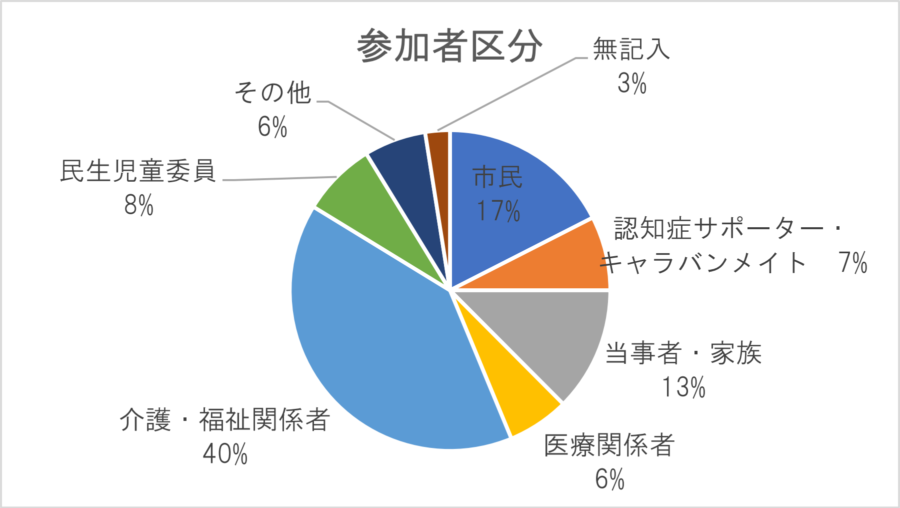
問1. ①ご自身の年齢について




②ご自身の性別について

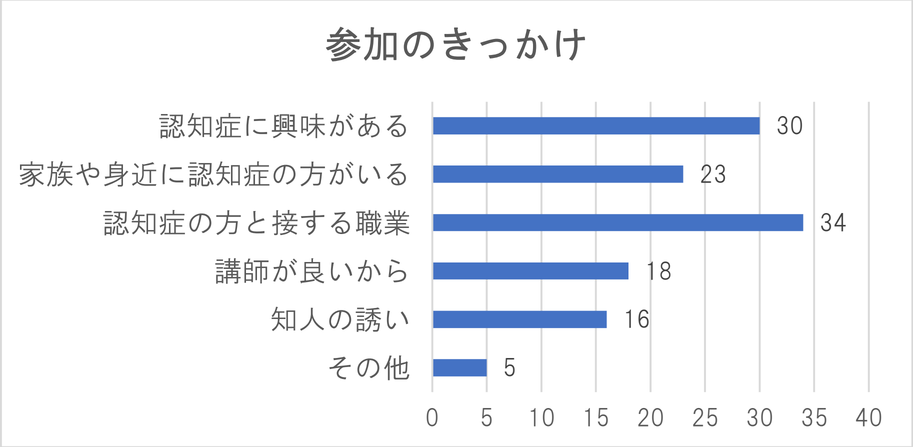



③ご自身の所属について



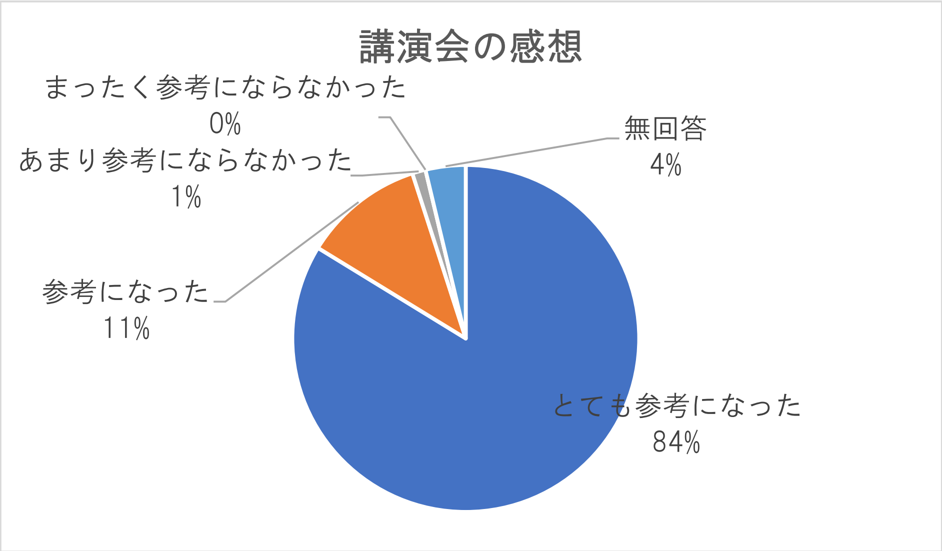

その他：行政、認知症地域包括支援推進員、認知症の人と家族の会

問2. この講演会に参加しようと思ったきっかけは何ですか？（複数回答可）




その他：関係者からの情報提供、市からチラシをもらった

問3.「認知症講演会」はいかがでしたか？




＊具体的にお答えください（一部抜粋）

**◎当事者の声が聴けて良かった　22件**

・ある程度、理解しているつもりでしたが、当事者の方の話しは初めてで胸にしみました。本当だろうかとも思いました。お二人がとても素敵なのでオレンジカフェなどのボランティアに参加してみたいと思いました。

・当事者としての心情がとてもよくわかりました。
だれでもなりえる病気、周りの環境を整えみんなが暮らしやすいようになればと思った。

・私と同年代で認知症と診断されたのに、苦悩とかあっただろうに、現在は私よりもいきいきと生活されてて、ビックリでした。
私も、いつどうなるかわからないので、今日の講演を忘れないように自分らしく生活していきたいと思った。

・もっと本人の自己決定を待って欲しいという声が心に響いた。忘れることを怒らないで欲しい。

・当事者とご家族様のお話を聴くことができたことを嬉しく思います。お話を聴いて「楽しいと怒らないよなぁ」「自分で決めたいよなぁ」「成功したら嬉しいよなぁ」と思ったり、当たり前にできることを奪ってしまっていることが多いのではないのかと思い返しました。心配の気持ちも当事者を悲しませていたのかと思うこともありました（きっと昔は、知識もなく心配しすぎだったと思います）「環境が大切」だということもよくわかりました。私自身も環境だなぁと改めて思いました。今後は今まで以上に、当事者の話、ご家族様のお話をしっかり聴こうと思いました。まず、私自身が当たり前のことが当たり前にできるようにと思います。貴重な講演、お時間を設けていただきありがとうございました。

**◎認知症に対する意識が変わった、理解が深まった　27件**

・支援のしかたについて、当事者、家族、支援者それぞれで支え方があると思っていたが、当事者のしたいこと、希望することが大切というのは今回の講演を伺い気付くことが出来ました。

・当事者の生の声、生の意見を聞けてとても参考になった。やはり偏見もあった。これからはアプローチの仕方を変えてみようと思う。自分の意思を大切にしてあげたい、失敗しても良い、成功で終わらせることが大切。

・自己決定すること、できることを奪わないこと、できないと決めつけないことなどなど、心に刻むポイントがたくさんありました。
会社や家族や周囲の理解が暮らしやすさにつながることも日々、言われることですがなかなか簡単なことではありません。
力を合わせて住みよい街づくりが進むよう取り組んでいきたいと思います。

・本人のやりたいことが出来るようにと思うが、つい事業所のしばりを考えてしまう、それでも自分ができることを続けて行きたいと思う。家族もだが、当事者の気持ちを第一に考えたい。

・普段認知症ケアを行っている中、当事者の話に耳を傾けていないなと感じました。本人様が出来ないと思い込んで親切心が本人様にとり不親切になっている。

**◎トークセッションが良かった　3件**

・トークセッションが本当に楽しかったです。心があたたまりました。

・トークセッションで具体的な話が聞けて勉強になりました。

**◎山中氏のご家族の講演が良かった　7件**

・山中さんの息子さんのお話はとても心にひびきました。社会から孤立しない事、本当に大切だと改めて思いました。

・とても良かった。サプライズで山中さんのご長男さんが講演された事とても感激し涙が出ました。

・山中さんのご家族のように若くバイタリティある方の登場はとても勇気をもらうことができました。

**◎当事者からの声　2件**

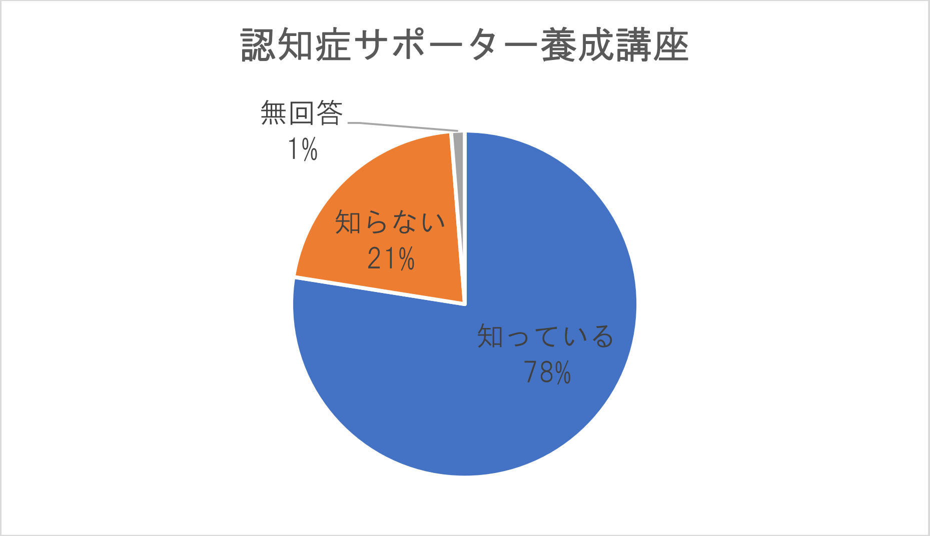
・進行がすごく心配でしたが、まだ軽度なので、家族で少しでも長く家に入れるよう良い距離感をみつけて生活していきたいです。

・自分も物忘れが出始めたので・・・・

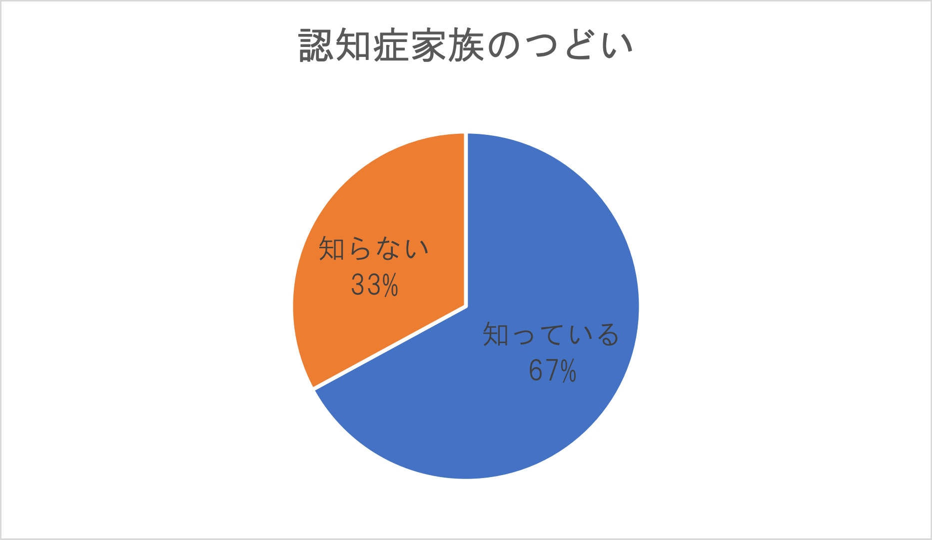
**◎参考にならなかった　1件**

・若年性認知症の話だけだったので。

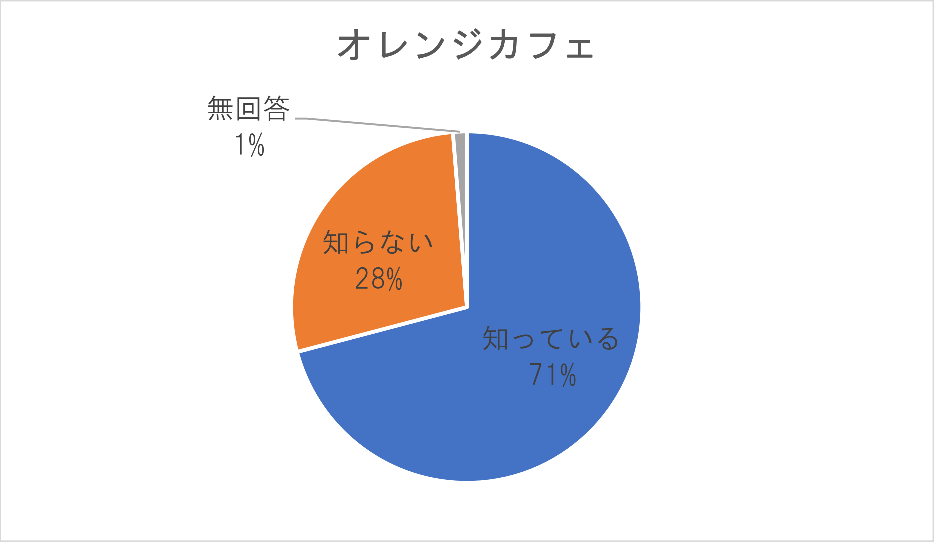
問4.「認知症サポーター養成講座」を知っていますか



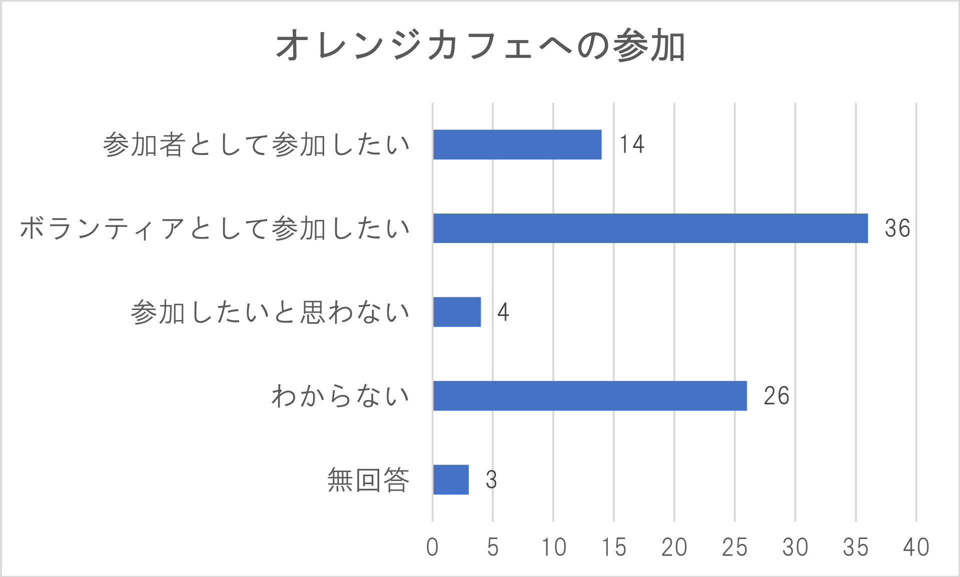

問5・「認知症家族のつどい」（安来市地域包括支援センター主催）を知っていますか



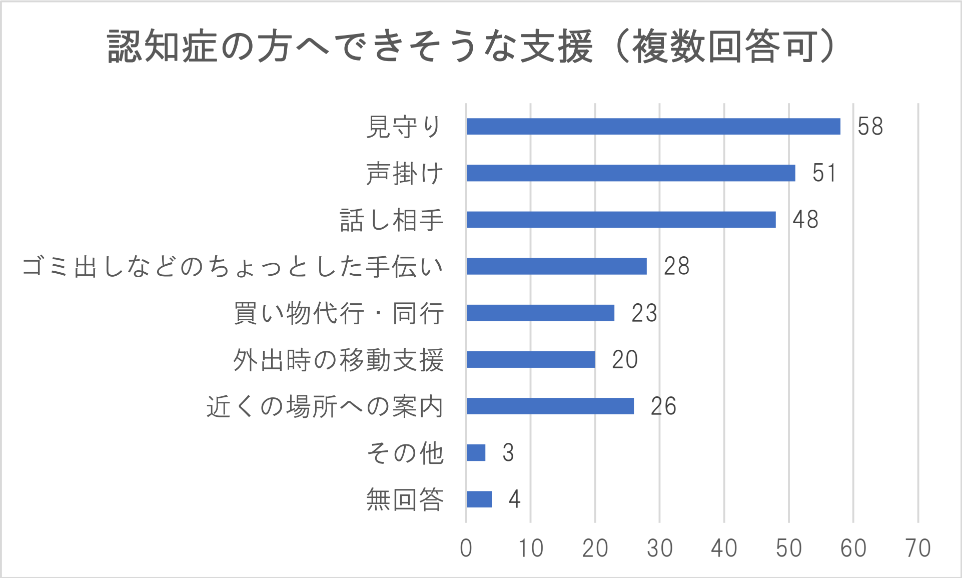
問6. オレンジカフェ(認知症カフェ)を知っていますか




問7. オレンジカフェに参加したいと思いますか




問8. あなたが認知症の方にできる(できそうな)支援についてお答えください(複数回答可)




その他：お手伝い、できることならなんでもという気持ち

## ＊今回の講演会に関する意見、今後の講演会に関する要望（一部抜粋）

### ◎講演内容に関するご感想　23件

・当事者さんのお話し涙がとまらなかったです。

・当事者の方の生の話に感動しました。今後もより一層寄り添いながら現実の受け止めが出来るようサポートに参加したい。

・支援者として参加したが、“自分ごと”として考えるきっかけになった。安来市が認知症の人がやりたいことができる町になりますように。

・環境や周りの理解がとても大切。丹野さんの上司と家族、山中さんの家族は素敵ですね。

・人と人のつながりの大切なのは、若年性認知症でも、高齢の人でもかかわることはみな同じという事がわかりました。

・3 人でされたトークセクションがいつまでも聞いておきたいぐらい楽しかった。

・素人の私でも、大変わかりやすく、理解が進みました。と、同時にお二人のご経歴より、認知症に対する認識も大きく変わったことも事実です。本日の講演からは、失敗を叱ったらダメ、また判断を本人に任せること、心は同じ人間だ、ということを大きく学びました。今後の生活に生かします。

・認知症当事者が認知症をよく理解しておられ、自分のあり方を自己決定していた。そこで生き生きとした自分の人生があると感じました。家族も本人も「可能性」を信じたり、出来る事を活かすことのために、本人の話をよく聞いたり、会話すること、本人を受け入れ、尊重することが大切と思いました。当事者からの発信の講演良かったです。

・とてもよかった。丹野さんの話、山中さんの話、山中さんの息子の話、何が大切なのかよくわかりました。ただ話が多くて整理するのがむずかしいかな、でもよかった。安来市がリーダーシップをもって会の運営している点も興味を持ちました。行政が自立して、本来の仕事をしている、なかなかこういうことは他行政ではできないと思います。安来はすごい、あと島根県庁職員もお話しされこれも良かったです。

### ◎講演へのご意見　2件

・会への参加案内ありがとうございました（感謝）今後も会等の案内よろしくお願いします。一点、活動報告のスライド文字が小さくて見づらいと思いました。

・知識がなく、認識不足ですが、講演会内容が、認知症とつきあって生活していくケースだけで、病気を克服していく講演になっていないことが、やや不満でした。認知症は不治の病であることを前提にしている点。

### ◎もっと沢山の人に講演会を聴いてほしい、再演希望　6件

・デイサービス、グループホーム等、サービス事業所の方にもっと聞いていただきたかった。

・たくさんの方に今回の公演をきかせてあげたい、ミニサロンの場でもこの講演を皆に話したい。

・今回は、オンラインでの参加となりましたが、もし機会があれば、実際に対面でお話を聞きたいので、是非安来市にて、また講演を行っていただけますようよろしくお願いいたします。

### ◎今後の講演会の希望　3件

・認知症になる原因とか進行を遅らせるには何が有効なのか参考例があれば教えて欲しい。

・チャンスがあれば失敗談も聞きたいです。

・もっと市民の人に気軽に参加してもらえるようになるといいと思います。子供たちとか。

### ◎その他　1件

・認知症の発症は、高齢化が進み急増が危惧され、認知症の発生防止の重点策を安来市でも展開することが急務と考えています。